

携帯電話・インターネット等に関する調査について

愛媛県教育委員会では、平成31年1月に県内の小・中学生を対象にインターネットの使用状況等に関する調査を実施しました。調査結果は次のとおりです。



1 インターネット等に関する調査について

(1) 調査の目的

児童生徒の携帯電話・スマートフォン等インターネットに接続可能な機器に対する意識やその所有率、被害の状況を調査し、今後の取組を推進する。

(2) 調査の対象

公立小学校4、5、6年生児童及び公立中学校全学年生徒

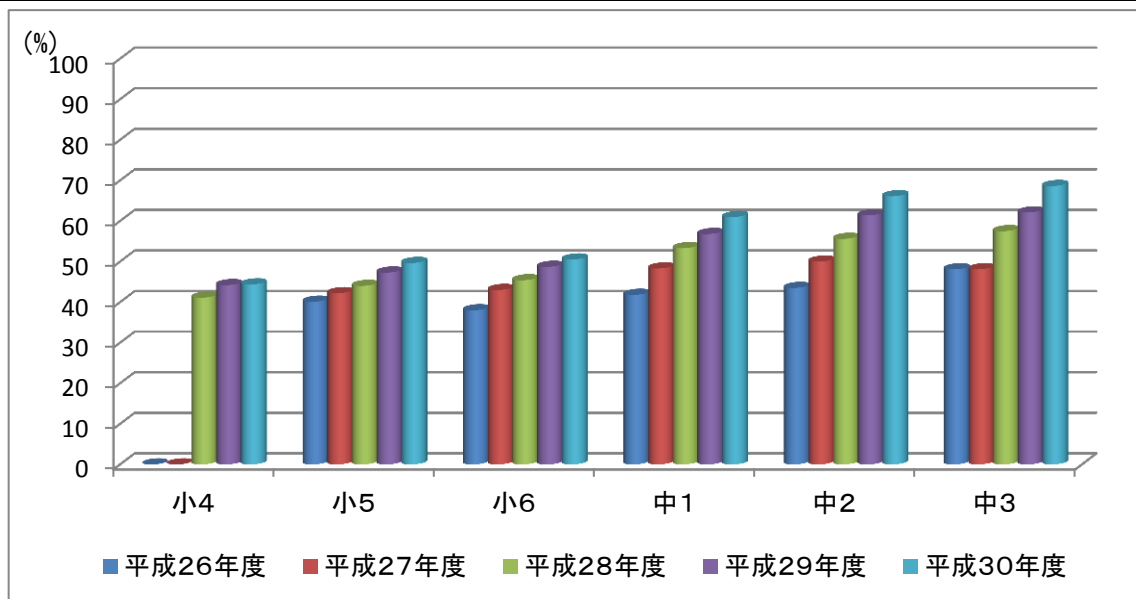
(3) 調査人数

小学4年生 11,114人 小学5年生 11,394人 小学6年生 11,346人
 中学1年生 9,732人 中学2年生 10,054人 中学3年生 10,519人

2 主な調査結果

自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合

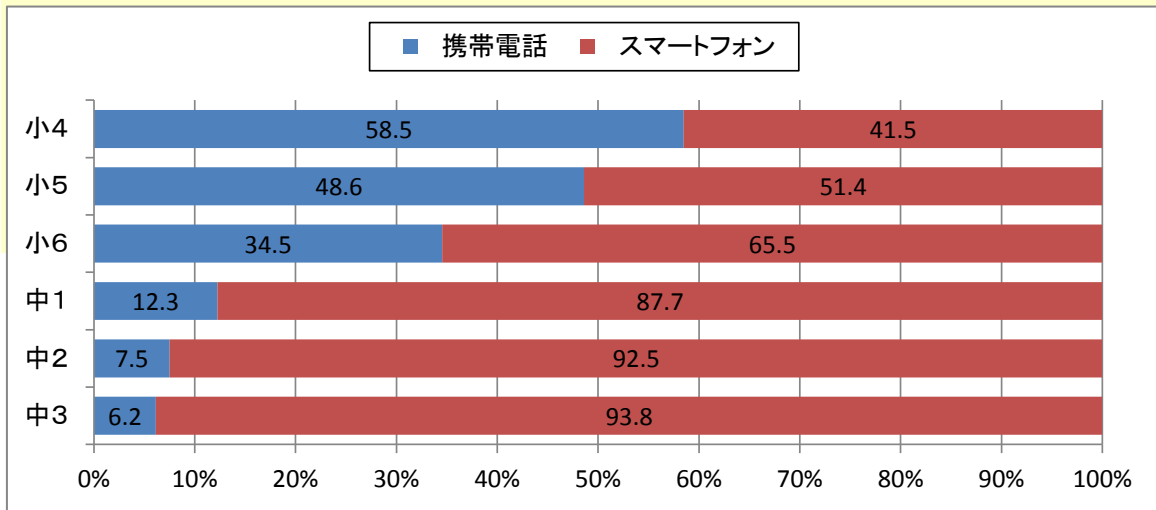
回 答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
平成30年度	44.4	49.6	50.5	61.0	66.1	68.6
平成29年度	44.2	47.3	48.7	56.8	61.4	62.1
平成28年度	41.1	44.0	45.4	53.3	55.6	57.5
平成27年度		42.2	43.0	48.3	50.0	52.9
平成26年度		40.1	38.0	41.8	43.5	48.1



「自分の携帯電話・スマートフォンを所有している児童生徒の割合」は、学年が上がるにつれ高くなる傾向があり、中学生では6割以上の生徒が所有している。また、全ての学年において、調査開始以来、最高となった。

携帯電話とスマートフォンの所有率[対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者]

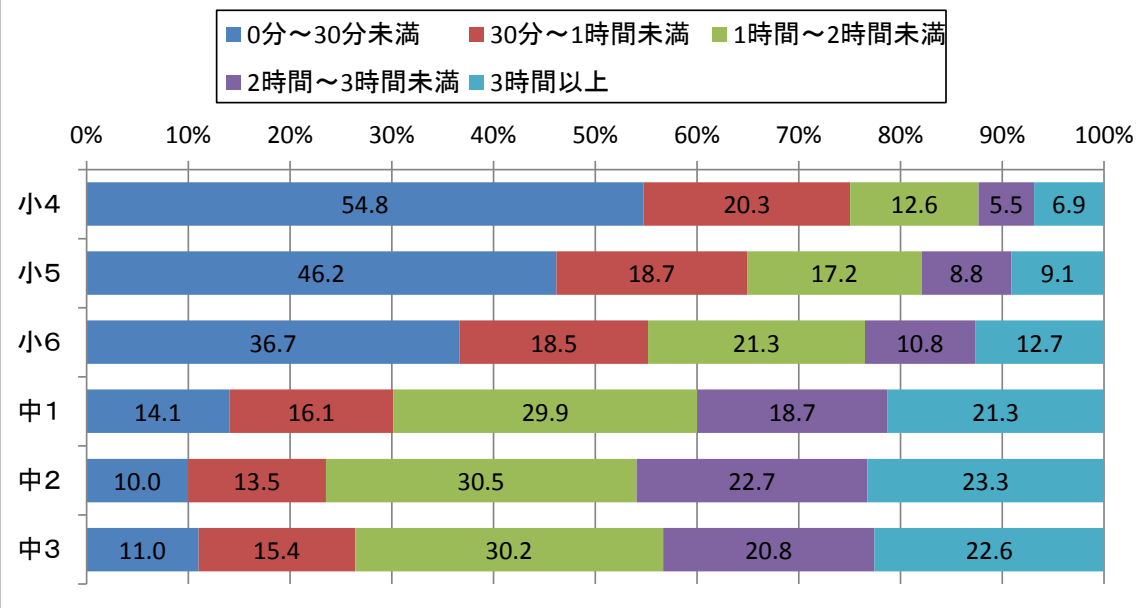
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
1携帯電話	58.5	48.6	34.5	12.3	7.5	6.2
2スマートフォン	41.5	51.4	65.5	87.7	92.5	93.8



学年が上がるにつれスマートフォンを所有する割合が高くなる。特に中学生は約9割がスマートフォンを所有している。

携帯電話・スマートフォンの使用時間[対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
0分～30分未満	54.8	46.2	36.7	14.1	10.0	11.0
30分～1時間未満	20.3	18.7	18.5	16.1	13.5	15.4
1時間～2時間未満	12.6	17.2	21.3	29.9	30.5	30.2
2時間～3時間未満	5.5	8.8	10.8	18.7	22.7	20.8
3時間以上	6.9	9.1	12.7	21.3	23.3	22.6

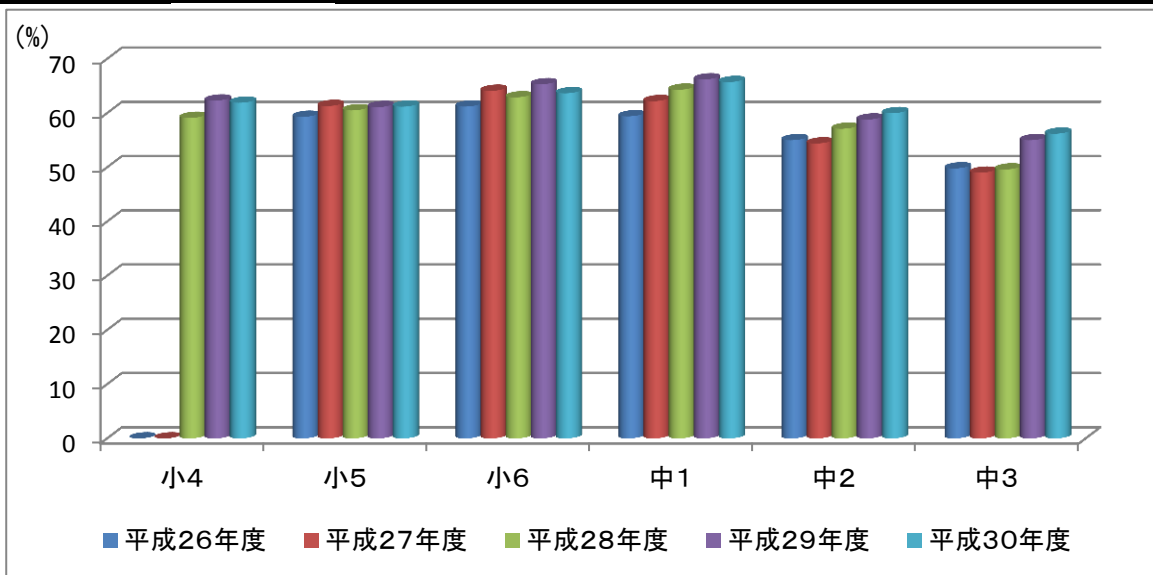


小学生は30分未満が多かったが、中学生になると、2時間以上使用している者が4割を超え、全ての学年において、昨年度よりも使用時間が増加している。

携帯電話・スマートフォンの使い方についてルールを決めている家庭の割合とその内容〔対象:「自分の携帯電話を所有している」と答えた者〕

ルールを決めている家庭の割合

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
平成30年度	61.9	61.2	63.7	65.7	60.0	56.2
平成29年度	62.3	61.1	65.3	66.2	58.8	55.0
平成28年度	59.1	60.5	62.9	64.3	57.1	49.6
平成27年度		61.3	64.1	62.2	54.4	49.0
平成26年度		59.3	61.2	59.4	55.0	49.8



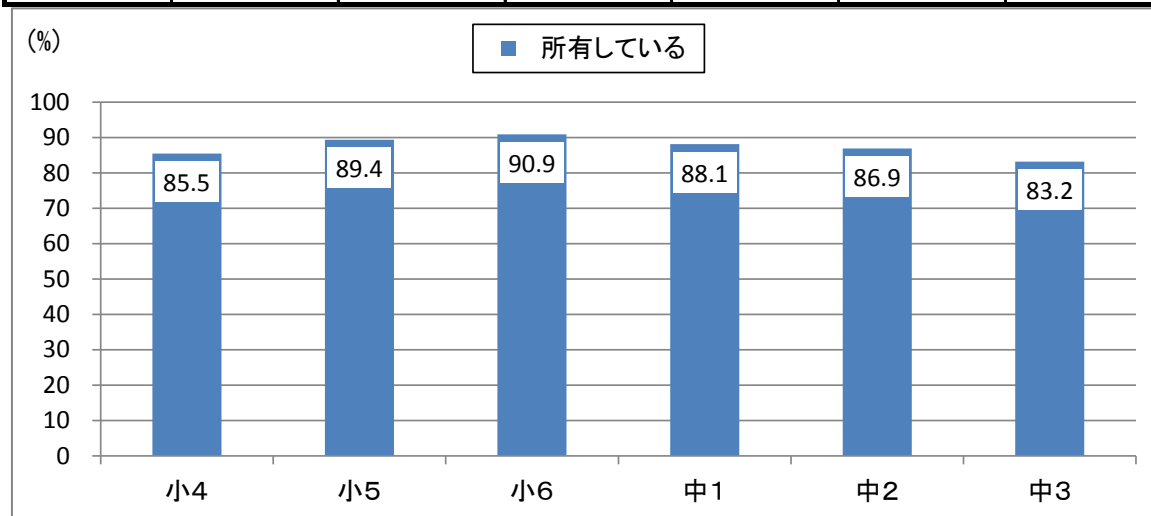
ルールの内容

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
使用する時間帯	53.0	54.6	56.5	58.9	54.4	51.5
使用する場所	35.5	34.9	37.8	34.8	30.0	28.9
使用料金	25.6	31.0	35.2	35.4	34.1	37.9
メール等の内容	35.8	39.9	43.6	45.7	38.9	40.3
学校のルールを守る	35.8	37.5	41.0	47.7	46.1	47.2
その他	11.1	9.7	8.0	7.4	6.5	5.5

「ルールを決めている家庭の割合」は、中学1年が最も高く、学年が上がるほどルールを決めていない傾向が強い。また、その他の中には、「個人情報分かる投稿(書き込み)はしない」「ネットで知り合った人と会わない」「困ったことがあれば、必ず親に相談する」等のルールがあった。

携帯電話やスマートフォンを除くインターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合

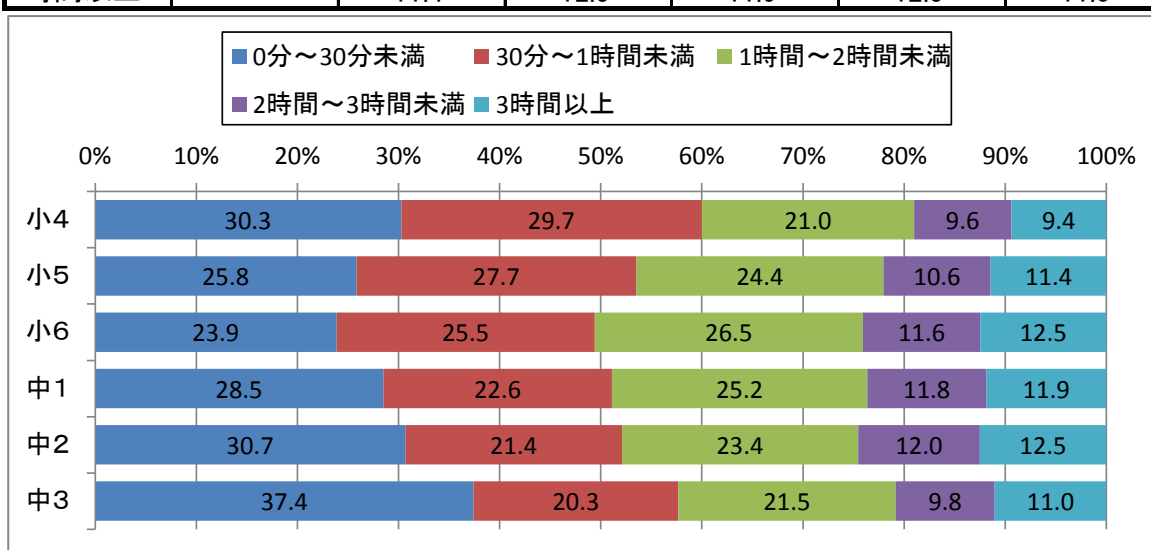
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
所有している	85.5	89.4	90.9	88.1	86.9	83.2
所有していない	14.5	10.6	9.1	11.8	13.1	16.8



「インターネットが利用できる自分専用の機器を所有している児童生徒の割合」は、全学年で80%を超えており、高い所有率となっている。携帯電話・スマートフォンの所有率と併せて考えると、ほとんどの児童生徒が自由にネットを利用できる環境にあるといえる。

1日にインターネットを利用する時間〔対象:「インターネットに接続できる機器を所有している」と答えた者〕

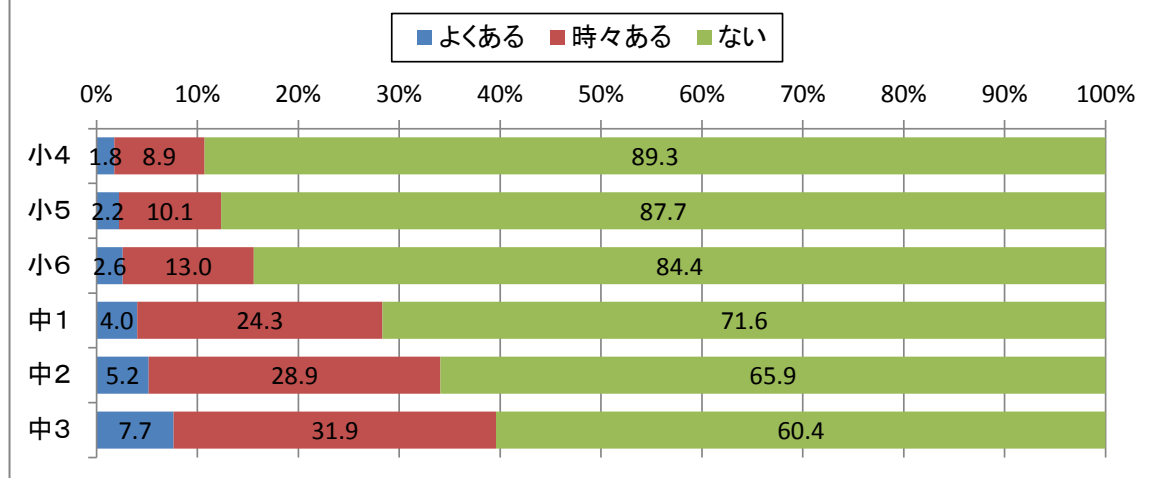
回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
0分～30分未満	30.3	25.8	23.9	28.5	30.7	37.4
30分～1時間未満	29.7	27.7	25.5	22.6	21.4	20.3
1時間～2時間未満	21.0	24.4	26.5	25.2	23.4	21.5
2時間～3時間未満	9.6	10.6	11.6	11.8	12.0	9.8
3時間以上	9.4	11.4	12.5	11.9	12.5	11.0



1日にインターネットを利用する時間を見ると、使用時間が1時間を超える児童生徒が、4割を超えており、小学6年生が最多(平成27、28、29年度の調査では中学2年生が最多)であった。また、小学校では、いずれの学年も、昨年度より使用時間が増加している。

メール(ライン等を含む)やSNSに対して、返信することを負担に感じた割合[「携帯電話・スマートフォンを所有又はインターネットに接続できる機器を持つ」と答えた者]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
よくある	1.8	2.2	2.6	4.0	5.2	7.7
時々ある	8.9	10.1	13.0	24.3	28.9	31.9
ない	89.3	87.7	84.4	71.6	65.9	60.4



学年が上がるにつれ、メール等の返信に対して負担を感じる割合が高くなっている。特に、中学生になると、その傾向は強まり、中3では4割程度が負担に感じた経験がある。

携帯電話・スマートフォンやパソコンを利用した主な被害状況[複数回答()内は前年度比]

回答	小学校(%)			中学校(%)		
	4年	5年	6年	1年	2年	3年
インターネットの掲示板やメールで悪口	1.1 (+0.1)	1.3 (+0.2)	1.6 (±0)	4.0 (+1.1)	3.6 (+0.1)	4.9 (+0.5)
自分の個人情報や写真などを無断で流された	0.4 (±0)	0.6 (+0.1)	0.5 (-0.1)	1.4 (±0)	1.7 (-0.2)	2.3 (+0.2)
心当たりのない利用金額の請求を受けた	0.3 (-0.1)	0.5 (-0.1)	0.7 (-0.2)	1.8 (-0.1)	2.6 (-0.1)	4.6 (+0.1)
知らない人からメールや電話があった	4.1 (-0.6)	5.2 (-0.4)	6.8 (-0.4)	11.1 (+0.5)	14.1 (-0.1)	18.0 (+0.7)
他人からしつこくメールを送られたり、つきまといわれたりした	0.8 (-0.1)	1.0 (+0.2)	1.0 (±0)	1.5 (±0)	1.8 (-0.2)	2.2 (-0.1)
インターネットで知り合った人と実際にあった	0.8 (+0.1)	0.5 (-0.1)	0.6 (+0.2)	0.9 (-0.1)	1.5 (-0.1)	2.3 (-0.2)
ラインで仲間外れにされた	0.5 (±0)	0.5 (+0.1)	0.7 (+0.1)	1.6 (+0.2)	1.3 (+0.1)	1.2 (±0)
特にトラブルにあったことはない	92.8 (+0.1)	91.8 (+0.1)	89.8 (+0.3)	82.5 (-1.1)	78.7 (-0.6)	72.6 (-1.6)

内容別では、「知らない人からメールや電話があった」が全ての学年で最も多く、学年が上がるにつれて増加している。また、前年度と比較して、トラブルにあった児童生徒が、中学校では減少しているが、小学校では増加していることから、早い段階からの情報モラル教育を充実させていく必要がある。なお、上記以外には「オンラインゲームであおられた」「LINEの内容をスクリーンショットして、他の人に送られた」「LINEのアカウントを乗っ取られた」等があった。